

令和2年度 学校関係者評価（最終評価）

飯塚市立飯塚小学校

【学校教育目標】
やさしく、かしこく、たくましい飯小っ子の育成

【学校経営の重点目標】

〈組織運営〉 校務分掌の改善による職務の明確化、目標を共通認識し全職員で確実に実施
 〈教育課程〉 基礎・基本の定着を図り、学力を向上する教育課程の編制・実施・評価・改善
 〈研修〉 ICTを活用した協調学習の充実、校外研修の積極的な参加・還元

【教育指導の重点目標】

① 基礎・基本の定着を図る徹底反復学習の充実
 ② 協調学習実践のICT有効活用
 ③ 本物との出会いや将来について前向きに創造するキャリア教育の推進

☆は全員が回答を、★は教諭、講師が回答をしています。

評価項目	観 点	努 力 点	評価(割合)%					自己評価 平均P	成果と課題 (○) (●)	改 善 策(◇)	評 価(関係者)	学校関係者評価 (評価に対する意見)		
			4	3	2	1	平均点							
組織・運営	組織をマネジメントを生かした協働体制の確立	☆ 各部・各係が、学校教育目標の具現化に向け、学校経営の重点に基づいた企画により、自ら責任をもち校務分掌の遂行にあたる事ができた。	30%	70%	0%	0%	3.3	↑	0.2	3.3	○全教職員が協働し、学校教育目標の具現化に向けた校務分掌の遂行にあたる事ができた。 ●病欠等で、補欠配置のスムーズな対応ができない場面があった。	◇コロナ禍においても管理職及び教務の三者会議(10分早めた7:20~)の定例化を継続し、情報の共有を行うことで、行事や授業に支障をきたさないような人的配置や行事の調整をしていく。	3.6 (職員比 +0.3) (昨年度比 +0.3)	・コロナ禍において、学校運営は大変だったと思われます。本当にご苦労様です。T ・各学年、クラスともに先生方の連携で児童の健全な育成がされている。I ・現在の状況としては、十分な運営ができています。M
	めざす児童像に向けた学年・学級経営の推進	★ 思いやりのある児童をめざして学年経営や学級経営等にあたる事ができた。(やさしい子)	35%	65%	0%	0%	3.4	↑	0.2					
		★ 自ら考え、進んで表現し、互いに学び合える児童をめざして学年経営や学級経営にあたる事ができた。(かしこい子)	29%	71%	0%	0%	3.3	↑	0.1					
		★ 元気で最後までやり抜く事ができる児童をめざして学年経営や学級経営等にあたる事ができた。(たくましい子)	41%	59%	0%	0%	3.4	↑	0.2					
教育課程	教育課程の推進と言語活動を生かした教育活動の工夫	★ 年間指導計画に沿って、計画的に教科の授業を行う事ができた。	50%	50%	0%	0%	3.5	↑	0.1	3.3	○年間指導計画に沿って、意図的・計画的に授業を行う事ができた。 ●本年度も、学習ボランティア(Lボラ、Kボラ)や熟年者マナビ塾の方の学習サポートを企画したが、コロナ禍において年間指導計画に実施できたのは竹下先生と高木先生と荒木先生、社会福祉協議会の活用のみであった。	◇飯塚小校区の強みを生かした地域の一ともの・この活用をさらに計画的に行い、年間指導計画書反映させ、さらなる授業の充実を目指す。	3.6 (職員比 +0.3) (昨年度比 +0.3)	・外部の方を入れるのは難しい中で、数名とはいえ受け入れられたことは良かったと思います。T ・コロナ下での臨時休業もあった中で最大限の教育をしてもらっている。I ・教科書の授業だけでなく、地元をもっと知って自慢できるような機会がもっと欲しい。M
		★ 学習のめあてを設定し、まとめと整合した学習指導を行う事ができた。	28%	72%	0%	0%	3.3	↑	0.1					
		★ 1時間の学びを「導入(課題把握)ー展開(見通し・自力解決・交流)ーまとめ」として、児童の興味・関心を高める指導を工夫する事ができた。	11%	89%	0%	0%	3.1	↑	0.1					
		☆ 諸教育活動のねらいや内容を見直し、活性化を図る事ができた。	0%	84%	16%	0%	2.8	↓	-0.2					
		★ 地域の一ともの・ことを活用し、児童の課題解決の力を高める特別活動や総合的な学習の時間の充実を図る事ができた。	33%	50%	17%	0%	3.2	→	0.0					
研 修	学力向上に向けた研究の推進	★ 授業研究を全学級1回は実施し、仮説・着眼の有効性を検証する事ができた。	71%	24%	6%	0%	3.6	↑	0.2	3.1	○2学期の授業研究を通して、ICTを活用した協調学習の授業を行う事ができた。基礎基本の徹底を図る徹底反復学習を充実させ、学力向上【NRT教科総合ポイントで4年連続全国平均を108.8p以上のクリア(全国平均=100とする)】に結びつけた。 ●主題研修及び一般研修のさらなる推進をおこなう。(プログラミング教育やタブレットPC研修)	◇学力検査及び調査や全国学力テスト等の結果の分析を行い、本校の学力の実態(課題)を共有し、主題研究を通して児童のさらなる学力向上を目指す。	3.0 (職員比 -0.1) (昨年度比 ±0)	・先生方におかれましたが大変な対応を余儀なくされたと思います。チーム飯塚小で頑張ってください。T ・学力の向上には様々な工夫が必要と思う。勉強だけでなく「体験」を通して学ぶ力の向上を期待します。I ・プログラミングやタブレットでの授業が学校だけでなく親にも理解してもらえるような企画が欲しい。M
		★ 学力テスト等の結果を分析し、児童の学力の実態に基づいた学力向上の取組の推進を図る事ができた。	18%	71%	12%	0%	3.1	↓	-0.1					
	校内研修や各種研修による指導力の向上	★ 教職員のニーズに応じ、教職員の指導力向上をめざした校内研修に積極的に参加した。	35%	59%	0%	6%	3.2	↓	-0.1					
		★ 校外での研修会に積極的に参加し、教育の基盤づくりのために研修会で学んだことを授業や教育活動に取り入れる事ができた。	18%	29%	47%	6%	2.6	↓	-0.5					
人 権 ・ 同 和	確かな学力を身につけるための授業改善	★ 基礎・基本の定着を図るために、具体的な手立てを工夫する事ができた。	17%	78%	6%	0%	3.1	↓	-0.2	3.1	○基礎基本の徹底を図り、授業の中で個に応じた指導をだいたい行う事ができた。 ●コミュニケーションのスキルアップや対人関係能力や自尊感情を高めるための具体的な指導が十分ではなかった。	◇対人関係能力を育成するために、キャリア教育や特別な教科:道徳を飯塚第1中学校区6校で情報を共有しながら計画的に実践していく。	3.0 (職員比 -0.1) (昨年度比 ±0)	・人権・同和教育は子ども達の成長に欠かせないものだと思います。1中校区が足並みをそろえての取り組みとなれば素晴らしいと思います。T ・コミュニケーション力等の向上に交流センターや商店街等の地域コミュニティを積極的に活用してもらいたい。I ・問題がないように思います。M
		★ 日々の授業で、個に応じた指導など指導方法の工夫や改善を図る事ができた。	22%	61%	17%	0%	3.1	↓	-0.3					
	人権感覚の向上と自尊感情の向上を重視した学習指導	☆ 全教育活動の中に、人権・同和教育の視点に立った学習を推進する事ができた。	20%	75%	5%	0%	3.2	↑	0.1					
		☆ 様々な体験活動を通して、豊かな人間関係を作ることができるように、児童の人権感覚や自尊感情を高める事ができた。	10%	80%	10%	0%	3.0	→	0.0					
生徒指導	基本的な生活習慣の確立	☆ 挨拶や学習の準備・整理整頓など、基本的な生活習慣の定着を図る事ができた。	20%	75%	5%	0%	3.2	↑	0.2	3.3	○定期的な多面調査及びいじめアンケートの実施や教育相談、生徒指導委員会での情報共有や組織的対応方針の決定など、児童に寄り添った対応ができた。 ●一中校区の取組でもある基本的な生活習慣の基盤となるのは挨拶であることから、あいさつ五か条をさらに指導していく。	◇教師による率先した心のこもった挨拶、礼儀等の基本的な生活習慣を徹底をはかり、「飯塚小学校スタンダードスタイル」を確立し、全校で取り組んだ成果が見える評価の仕方を工夫する。また、学校の取り組みを保護者や地域に発信していく。	3.6 (職員比 +0.3) (昨年度比 -0.4)	・子ども達はとても元気で良いと思います。本当にご指導ありがとうございました。T ・挨拶がしっかりできることは一番大切なこと。児童の皆さんは元気な挨拶ができるので、引き続き子ども達の「心」を大切に指導をお願いします。I ・子ども達(学童を含む)の挨拶がよくなっています。M
		生徒指導の機能を生かした教育活動の推進	☆ 子どもとのふれあいを大切に、子どもに寄り添った姿勢で接し、子ども理解に努める事ができた。	35%	65%	0%	0%	3.4	↑					
	☆ 家庭や地域等と連携した生徒指導上の問題に対して、取組を行った。		21%	79%	0%	0%	3.2	↓	-0.1					
	☆ 子ども一人一人のよさを認め、子どもに自己肯定感や有用感、充実感を味わわせるような授業や活動に取り組む事ができた。		20%	80%	0%	0%	3.2	→	0.0					
	家庭や地域と連携した生徒指導の充実	☆ 保護者等と連携しながらいじめの早期発見・早期対応をし支援委員会で報告する事ができた。	24%	82%	6%	0%	3.2	↓	-0.2					
		☆ 毎月アンケートを実施し、いじめの把握をし、対応する事ができた。	71%	29%	0%	0%	3.7	↑	0.1					
いじめの早期発見・早期対応	☆ 保護者等と連携しながらいじめの早期発見・早期対応をし支援委員会で報告する事ができた。	59%	41%	0%	0%	3.6	↑	1.1						

評定尺度の基準 4……達成できた(80%以上) 3……だいたい達成できた(60~79%) 2……あまり達成できなかった(40~59%) 1……達成できなかった(40%以下)